

人間の安全保障における民間セクター開発の重要性

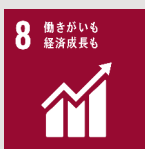
民間セクターは、多くの人びとの雇用や所得を生み出す源泉であり、人びとが尊厳をもって生きることが可能にします。若者、女性、障がいを持つ人びとを含むすべての人びとが安全に生き活きと働くことができ、複合的危機にも対応できるレジリエントな産業を育成することが重要です。さらに、民間企業のイノベーションにより農業、保健、教育などあらゆる分野の課題解決を図ることも、人間の安全保障の実現に大きく貢献します。



人間の安全保障のアプローチの実践を通じたJICAの貢献

JICAは、人びとの雇用を支える民間企業の育成や、社会課題の解決にもつなげる企業の成長と変革を支えることを通じて、インクルーシブで持続可能な社会・経済発展を目指します。そのため、人びとが脅威への対応のために自らの選択する力を強めるための地域社会や人々の「エンパワメント」に特に注力し、開発途上国の民間セクター開発を支援します。具体的には、1) 成長や雇用を生み出す産業振興のための政策支援、2) 自国や周辺国で活躍するコンサルタントの育成や制度の構築を行うことで、カイゼンや経営支援により民間企業の成長を促し、全ての人が安全に働ける職場・雇用の創出、3) 社会課題を解決するスタートアップを育むエコシステムの構築を支援し、起業家の潜在能力を向上、4) ビジネスマッチングを通じた民間企業間のリンケージ促進や南々協力を支援し、民間企業や開発途上国の潜在能力を活かしてレジリエントな産業構築に貢献します。

SDGsへの貢献



SDGsゴール8「働きがいも経済成長も」及びゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、特に以下のターゲットの達成に貢献します。

8.3：生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励。

9.2：包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加。後発開発途上国は同割合を倍増。

CASE

取組事例

カメルーン及び周辺諸国での零細中小企業の成長を促進

カメルーンの中小企業の企業競争力向上のため、2015年から継続して、カメルーンの中小企業振興庁や中小企業・社会経済・手工業省と共に、品質・生産性向上と経営管理を中小企業に指導できる官民のカイゼン・ビジネス開発サービスコンサルタントの育成を行ってきました。2023年からはカメルーン国内での中小企業支援サービスの全国展開に加え、カメルーン現地コンサルタントと共に、周辺の西部アフリカ地域8か国に協力を拡大しています。今後も、西部アフリカ地域における零細中小企業の経営改善と競争力強化を通じたレジリエントな産業構築に貢献していきます。



ガボンの企業に訪問し助言を行う様子